**６年　「今に伝わる室町文化」　（９月　３時間　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容（２）のオに基づいて行う

　京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画，芸能などと，それらにかかわる人物の働きを通して，

今日の生活文化に直結する要素をもつ室町文化が武士や民衆の中から生まれ，今も多くの人々に親しまれていることが分かるとともに，それらにかかわる人物の願いや働き，代表的な文化遺産の意味を考えようとする。

**（２）小単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料を活用して，必要な情報を読み取り，理解している。 | ・京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画，芸能などと，それらにかかわる人物の働きについて調べたことを比較したり，関連付けたり総合したりしながらこの頃の世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。 | ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

　室町時代の時代の文化は，書院造や茶の湯，生け花，能・狂言，すみ絵，生活習慣など，今も多くの人に親しまれ，現在の生活文化と深いつながりのあるものが多い。❸

**まとめる**

**具体的知識**

　・室町時代には、日本の伝統芸能である能・狂言のほかに、茶の湯、生け花など、現在も多くの人々に親しまれる文化が生まれるとともに、一日三回の食事や盆踊りなど、現在の生活とつながりの深い習慣も生まれた。　　　　　　　　　　❸

　・雪舟が大成させた墨絵は、日本らしい美しい自然が描かれ、現在も多くの人々に親しまれている。　　　　　　　　 ❷

　・室町時代には足利義満が建てた金閣、足利義政が建てた銀閣に代表される新しい文化が生まれ、書院造のように、今日に通じる要素がある。　　　　　 ❶

　・茶の湯、生け花、墨絵、書院造の部屋など、室町時代に生まれた文化は互いに関係が深く、日本を代表する文化として、現在まで長く受け継がれている。❸

・足利義満、足利義政

・金閣、銀閣

・書院造

・能、狂言

・茶の湯

・生け花

・室町文化

・雪舟

・すみ絵（水墨画）

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**調べる**

**いかす**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | | 資料 |
| 学習問題をつかむ（１時間） | 金閣と銀閣について資料をもとに比較し，銀閣がどのような建物か話し合い，学習問題をつくりましょう。❶  ①それぞれの写真を見て気づいたことを話し合い，既習した貴族の屋敷や武士の館との違いについても考える。  ②東求堂の書院造と現在の和室を比べ，分かったこと  　や疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。  ③現代とのつながりや建物以外の文化の視点を確かめ，学習問題について調べる計画を立てる。 | □「この時代の主なできごと」を参考に，京都の室町に幕府が置かれ  　たことや，足利義満によって金閣が，足利義政によって銀閣が建てられたことを確認していく。  ☆金閣や銀閣，書院造と和室の共通点に関心を持ち，進んで調べようとしている。　　　　　　《態度》  □疑問点を整理し，学習問題を考え  **学習問題**室町時代の文化は，どのようなものだったのでしょうか。  させる。  ☆室町時代の文化について学習問題を考え予想している。  《思考・判断・表現》 | | ・年表  ・地図  ・写真（金閣，銀閣）  ・写真（東求堂の書院造）  ・資料集 |
| 学習問題について調べる（１時間）  　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 室町文化を代表する雪舟のすみ絵は，どのようなものだったのでしょうか　❷  ①「天橋立図」と既習の大和絵を比較し，気づいたこ  　とや感じたことを交流する。  ②「天橋立図」「四季花鳥図」から，雪舟のすみ絵の画法について調べる。  ③すみ絵を大成させた雪舟の働きについて調べる。  　雪舟のすみ絵は，日本らしい自然の美しさや雄大さを描き，現在も多くの人々に親しまれている。 | □「天橋立図」と大和絵を比較し，白黒だが，力強さのあるすみ絵に関心を持たせる。  □墨の濃淡や筆さばきなどの技法や，中国の留学の体験から独自の作風を生み出したことなどを資料から調べさせる。  □図工科と関連させ，すみ絵を描く活動を取り入れると，文化への理解を深めることができる。  ☆すみ絵と，すみ絵を大成させた雪舟の働きについて，資料から読み取っている。 《知識・技能》 | | ・地図  ・写真（「天橋立図」，「四季花鳥図」，大和絵）  ・写真（「雪舟庭」）  ・資料集 |
| 学習問題をまとめる（０・５時間） | 室町時代に生まれたほかの文化について調べ，学習問題についての自分の考えを書きましょう。❸  ①室町時代に生まれた，茶の湯，生け花，能・狂言について調べる。  ②室町時代に民衆に広まった生活習慣を調べる。  ③これまでの学習を通して調べたことを整理し，学習問題についての自分の考えをまとめる。 | □茶の湯，生け花が書院造とつながっていることや，能・狂言が民衆と深いつながりを持っていること  　を資料から気づかせる。  □現在の生活や習慣との共通点に気づかせる。  ☆室町時代に生まれた茶の湯，生け花，能・狂言や，民衆に広まった生活習慣について調べたことをノートにまとめている。《知識・技能》  □これまで調べたことを整理し，それぞれの文化と現在とのつながりに着目させながら自分の考えを書かせる。  ☆調べたことを比較したり，関連づけたり総合したりして，室町文化と現在とのつながりを考え，適切に表現している。  《思考・判断・表現》  ☆今日の生活文化に直結する要素を持つ室町文化が，武士や民衆の中から生まれ，今も多くの人々に親しまれていることを理解している。　　　　　　 《知識・技能》  　室町時代の時代の文化は，書院造や茶の湯，生け花，能・狂言，すみ絵，生活習慣など，今も多くの人に親しまれ，現在の生活文化と深いつながりのあるものが多い。 | | ・写真，動画資料  （能・狂言，茶の湯，生け花）  ・資料集 |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 | |
| いかす（０・５時間） | ６００年前の室町文化を体験しよう。❹  **Ａ案「茶の湯」**  ①資料を見て，作法や部屋の様子（畳や生け花，掛け軸）などについて分かったことを話し合う。  ②茶の湯を体験し，気づいたことや感想を発表し合う。  ③体験をもとに，現在の生活に受け継がれている室町文化についてレポートにまとめる。  **Ｂ案「能」**  ①資料を見て，舞台や衣裳，能面，囃子などについて分かったことを話し合う。  ②能舞台を見学し，気づいたことや感想を話し合う。  ③体験をもとに，現在の生活に受け継がれている室町文化についてレポートにまとめる。 | □地域の市民センターや人材バンク  　を調べ，体験できる場や教えてくれる人を探す。  □「まなび方コーナー」を活用し，レポートの書き方を確認させる。  □それまでの学習を生かし，室町時代の他の文化との関連にも着目させながらまとめさせる。  ☆室町時代から続いている文化の大切さや，それらにかかわる人々の願いや働きについて考えようとしている。  《態度》 | ・写真や動画  （Ａ案：茶室，道具，作法）  （Ｂ案：舞  　台，衣裳  　能面，囃  　子） | |

**（５）ワークシート**

①東求堂と和室の比較　　　　　　　　　　　　　②室町文化体験レポート

能の体験レポート

１．能とは　　　　　　　　　５．さらに調べてみたいこと

２．能で使うもの

　　＊能面

　　＊衣裳

　　＊お囃子

　３．能舞台を見学して

４．ユネスコ世界無形遺産

東求堂と現在の和室を比べよう

・2つの部屋を比べて似ているところを書きましょう。

・これらの部屋ではどんなことをしたり，どんな飾り付けをしたりできるでしょう。

現在の和室

（写真）

東求堂の書院造

（写真）

写真や図

ポイント

ポイント

・能はほとんどの児童にとって未知の文化であると考えられる。事前に能について図書やインターネットで調べさせてから見学などの体験を取り入れるようにする。

・現代まで続いている最古の演劇であり，世界でその価値が認められていることを知らせたい。

・書院の様式が現在の和室にも多く取り入れられていることに気づかせる。

・お茶を飲む，花を飾る，掛け軸をかける，本を読むなど，具体的に考えさせることで現在の生活とのつながりを捉えさえる。

能-BOX（仙台市市民文化事業団「せんだい演劇工房10-BOX」別館）ホームページ：http://www.gekito.jp/

益田市立雪舟の郷記念館ホームページ：http://www.iwami.or.jp/sessyu3/

公益社団法人　能楽協会ホームページ：http://www.nohgaku.or.jp/